



# 2025 Super FJ 日本一決定戦



富士スピードウェイ

2025年12月20-21日 天候:曇り/雨 参加39台



テキスト:はた☆なおゆき

2025年スーパーFJ 日本一決定戦の舞台は富士スピードウェイ。FJ 日本一決定戦は 1998 年から FJ1600 の時代を経て、実に 27 回目となる。富士スピードウェイは国内最長のストレートを持ち、スーパーFJ ではオーバーテイク合戦が繰り広げられて圧巻の一言である一方で、セクター3 という峠の登り道のようなセクションもあるから、気は少しも抜けない。

今大会のエントリーは 39 名。現在のシリーズ編成になってから、地方選手権が4シリーズ、そして全国転戦のジャパンリーグが設けられているが、チャンピオンは 3 名しか出場していない。その理由は、もうおわかりだろう。#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KKS2)が三冠を獲得しているからだ。ジャパンリーグと、地方選手権では、もてぎ・菅生シリーズ、そしてオートポリスシリーズを制覇。全シリーズに登場し、24 戰 12 勝と勝率は5割に及んだ。

その#22 酒井選手を下して、筑波・富士シリーズを制したのは#52 津田充輝選手(ファーストガレージ KK-SII)、そして鈴鹿・岡山シリーズを制したのは#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)。敗れたとはいえ、#22 酒井選手はいずれもランキング2位だった。

また、筑波・富士シリーズに改められてから、富士でのスーパーFJ 開催は年に1~2戦と少ない。その貴重なレースで過去に勝った経験を持つのが、#6 吉田選手と#56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)、そして 23 年の#13 武者利仁選手(KF MOTORSPORT KKS-II)の3人でしかない。そう、#22 酒井選手は併せて挑んでいるフォーミュラビートでこそ勝っているのだが、スーパーFJ では実は

未勝利。日本一決定戦を制し、全コース制覇となるか注目される。

なお、レース形式は従来どおりで、2組に分けられた予選とセミファイナルの後に、ファイナルが行われるトーナメント制。ファイナルのポールポジションには、セミファイナルで A 組、B 組いずれかの最も短い時間でトップチャッカーを受けたドライバーが就く。

また、セミファイナル、ファイナルともに、フォーメイションラップは 2 周行われる。

練習走行が開始された金曜日、空は澄み渡り、12 月も半ばを過ぎたというのに寒過ぎず。まさにコンディションは上々だった。しかし、専有走行の 1 回目が始まって間もなく、誰もが固唾を飲む光景が飛び込んでくる。#6 吉田選手のマシンが転倒していたのだ！ 目の前でスピンした車両を避け切れず、タイヤとタイヤが接触して宙を舞ったのが原因だった。

幸い、#6 吉田選手はすぐに自力で這い出て、無事が確認されたが、問題はマシンのダメージだが、幸いにして致命傷にまでは至らず。修復が可能だった。とはいえ、鈴鹿・岡山シリーズ最終戦で強さを見せ、事前の練習でも絶好調だったことで、大本命と目されたドライバーに赤信号が点る。もちろん、金曜日その後の走行はマシン修理の為に走れなかった……。

金曜日の専有走行で、最速タイムを記したのは#22 酒井選手で 1 分 51 秒 401。畠山退三選手のマシンを借り受け、今年3戦目のレースとなる#38 伊藤駿選手(Hobby Base & ZAP)が 1 分 51 秒 401 で続いて、3 番手が 1 分 51 秒 980 の#56 箕浦選手。

### 予選 A 組

ドライコンディションが保たれていた金曜日とは対照的に、予選が行われる土曜日は雨に見舞われてしまう。それでも強く降っていたわけではないが全車ウェットタイヤでの走行。始まって間もなく、セクター 3 付近で本格的に降り出した。計測 2 周目に 2 分 1 秒 701 を記録した#38 伊藤選手が、そのままトップを守り抜く。

その後はコンスタントに 2 分 1 秒台を刻むも伊藤選手はタイムアップできぬ中、ラストラップに縮めてきたのが#56 箕浦選手だった。計測 4 周目に 2 分 1 秒 990 を出し、2 番手に上がり、最後に 2 分 1 秒 954 を記すも、#38 伊藤選手には及ばず。もてぎ・菅生シリーズ 5 位の#53 石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 SII)が 2 分 2 秒 329 で 3 番手。以下、#78 小田部憲幸選手((株)フォースリンク ZAP ED)、#79 三瓶旭選手(中日本自動車短期大学 KK-SII)、#2 YOSHIDA KODAI 選手(T's TECHNO RF)の順で続いた。そして、7 番手がなんと#22 酒井選手だった。

### A 組予選トップ:#38 伊藤駿選手(Hobby Base & ZAP)

「途中から 13 コーナーあたりで降ってきて、出た当初より食わなくて、タイム更新が望めない状態だったんですよ。前半区間はディスプレイ上だと、けっこうゲインしていたところがあったんですけど、13 コーナーあたりでどうしても帳消しになっちゃうので。それで前半に出した周が決まりになったなあ、と。アウトラップで確信しましたよ、他の車を追い抜いていった時、『これ、行けるんじゃないかな』って。なんというか一段上の状態にいるなっていうのを感じました。そんなに長い年数やっているわけじゃないんですけど、運転を鍛錬して長いんで(タイム)出さないと示すがつかないですね？」



### A組予選2番手:#56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)

「路面は最後の方、また乾いてきました。練習走行からエンジンは調子悪くて、また戻したんですけど、それでも回らなくてストレートが遅いんです。雨降ってくれたおかげで2番手獲れたんですけど、トップの車の後ろに着いた時、明らかに自分、グリップしなくって、タイヤも全然冷たくなっていたので、セッティング変える必要があるな、って思いました。変えたらいきます！」

### A組予選3番手:#53 石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 SII)

「3周目と4周目のタイムをちょっとミスって、やられちゃっているので、それがなければ、もう少し上には行けていたと思います。もう今シーズン、確か3番手初めてなので、それが日本一ということなので、これ以上ない結果だと思います」

### 予選B組

予選B組は、A組とは対照的に時間の経過とともに雨量が減っていき、後半にタイムが出やすい状況となっていた。計測2周目に2分4秒217でトップに立ったのは、オートポリスシリーズ2位の#15 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)。しかし、次の周、復活を示すかのように#6 吉田選手が2分3秒998でトップに立つ。

計測4周目、#6 吉田選手が2分3秒474までタイムを詰めるも、その直後に#15 永原選手が2分3秒330で再度トップに浮上。いったんは、このあたりがピークかと思われた。しかし、前述のとおり、路面状態はセッション半ばを過ぎて向上。計測6周目に鈴鹿・岡山シリーズ6位の#10 杉田悠真選手(LAPS with REV RACING GARAGE)が2分2秒760を出し、トップに躍り出ると、さらに次の周には#15 永原選手が2分2秒681で三たびトップに立つ。2番手は#6 吉田選手で2分2秒771。

計測終了まであとわずか、というタイミングで2分2秒508をマークした#10 杉田選手のトップで決まりかと思われたものの、直後にもてぎ・菅生シリーズ3位の#14 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)が2分2秒407を叩き出して、一躍トップに浮上！ #15 永原選手と#6 吉田選手は最後の最後の伸びを欠き、それぞれ3番手、4番手に。その結果、セミファイナルB組のフロントローには、#14 松原選手と#10 杉田選手が並ぶことになった。5番手は#88 八巻涉選手(中日本自動車短期大学 KK-SII)が、6番手には#84 林零仁選手(KSJC KK-SII)がつけた。一方、#52 津田選手は、液体漏れに対するオレンジボール旗の提示があり、1周の計測だけでピットイン。まさかの15番手となつた。

### B組予選トップ:#14 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)

「最後の2周ぐらいは雨がやんでいて、けっこ走りやすかつたですね。正直、ドライの状況で、前日の練習まで苦戦していて、もうどうしようかと思っていたんですけど、チームからいろいろなアドバイスいただきて、『まあ、今日』って感じで、うまく決まって良かったです。チェックを受けた時、『P1』ってなつていて、何かの間違いかと思っていたけど、その後に掲示板を見たら14がいちばん上に来ていたので、嬉しくなって、つい泣いてしまいました(苦笑)」



### B組予選2番手:#10 杉田悠真選手(LAPS with REV RACING GARAGE)

「雨がやんてきて、最初の方よりグリップが高まってきた時に、前にペースメーカーがいたので(苦笑)。それでうまいことスリップを使って、タイムを残すことができました。調子はすごくいいので、レースも1

周、1周、目先のことだけを考えずに、大きく見て組み立てていって、最後に1位を獲得したいと思います。今年は事故りもしたんですけど、日本一決定戦で勝てれば、それも経験となって今回で勝てたということで、明日頑張りたいと思います」

B組予選3番手:#15 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「最後の方、決まってきて。雨のふじは走ったことなかったので、探し探しのアタックを続けていて、最後、ベスト～ベストの表示が出ていたんですけど、最後に詰まっちゃって、クリアラップ自体は取れなかったので、自分のポジション取り、うまくいかなかったというのがありました。あと1周あれば、もっと間隔空けていけば、コンマ3とか上がりましたね。オートポリスではだいぶ悔しかったですから、その分取り返します！」

### セミファイナルA組

予報が直前になってコロコロ変わるため、日曜日の富士スピードウェイは天気がどちらに転ぶかわからなくなっていたが、間違いなく誰もが望んでいたのはドライコンディション。早朝はやんでいたのだが、まだ路面は濡れたまま。6周で争われるセミファイナルは、タイヤ選択も力ギを握るのでは……と思われたものの、A組スタート進行の頃から再び小雨が降り始め、全車ウェットタイヤでの戦いとなった。

スタートで鋭いダッシュを見せたのが#56 箕浦選手。1コーナーにはポールシッターの#38 伊藤選手を従え、トップで飛び込んでいく。3番手は#53 石井選手。そしてヘアピンで4番手に上がっていたのは#22 酒井選手だ！ スタートも決め、早くも3ポジションアップを果たす。

レースはさっそく動く。ダンロップコーナーでトップの#56 箕浦選手がオーバーラン。止まり切れない判断し、エスケープゾーンへの回避を選んだのだろう。この判断が功を奏し、3番手で復帰。これでトップに#38 伊藤選手が躍り出るも、直後の13コーナーで痛恨のスピンが。幸い、一回転だけで進行方向を向いたことから、5番手で戦列に戻る。

これにより、トップに立ったのは#53 石井選手で、2番手が#56 箕浦選手、3番手が#22 酒井選手、そして4番手が#78

小田部選手。2周目に入ると、#38 伊藤選手が1コーナーで4番手に浮上。さらにヘアピンで#56 箕浦選手に、#22 酒井選手が並ぶも抜き切るまでには至らず。

#56 箕浦選手と#22 酒井選手のバトルはその後も続く間に、やや



#53 石井選手が抜け出す格好となり、逆に2番手争いには#38 伊藤選手が急接近。

4周目の1コーナーで#22 酒井選手が2番手に上がり、#56 箕浦選手は#38 伊藤選手にもダンロップコーナーで抜かれてしまう。勢いに乗る#22 酒井選手は、そのまま#53 石井選手との差を詰めていく。

しかし、ラスト2周は4台が一列に連なっていくが、こう着状態のまま、それぞれチェックを受けるこ

とに。トップは#53 石井選手で、2位が#22 酒井選手。#38 伊藤選手と#56 箕浦選手が続き、5秒遅れて#78 小田部選手が5位、6位が#2 YOSHIDA 選手だった。

セミファイナル A 組トップ:#53 石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 SII)

「けっこう久々っす、トップを走るのは。なんなら、1年ぶりぐらいです(笑)。

伊藤選手が回ってからは視界良好だったので、ウォータースクリーンを気にせず、自分のペースで走りました。後ろに化け物が(笑)、酒井選手が迫ってきたんですが、そこも差が縮まらずになんとかなりました。ドライだと自信があって、ウェットでも今、見たとおりなので、もう勝つ気で行きます！」



セミファイナル A 組 2 位:#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KKS)

「昨日とはいいろいろ変えてもらったので、それがいい感じになって。ファイナルにも、いい気持ちで臨めそうです。予選は、いろいろ自分の走りも含めて、セットもそうですが、いい感じのところに持つていけなかったので、そこは自分のミスもあったのかな、というふうには思っています」

セミファイナル A 組 3 位:#38 伊藤駿選手(Hobby Base & ZAP)

「いや~、ミスですね。そんなにアグレッシブには行っていなかつたんですが、いきなり。たぶん縁石ですかね？ 昨日の状態では全然問題なかつたんですが、スパッとこう行って……。なんとか一回転で立ち直れたので、最小限で収まったからいいですけど、ちょっと“やらかし”ですね。まあ、全体的にちょっと、余計に変更与えたのが良くなかったのかも。まだ流れはあると信じています」

セミファイナル B 組

セミファイナル B 組のスタート進行開始時には、まだ小雨がぱらついているものの、雲の切れ間からは陽も差すように。アベレージアップも確実か、と思われたのだが……。

まずはスタート。ここで素早く飛び出したのがポールシッターの#14 松原選手だ。逆に#10 杉田選手はやや出遅れ、1コーナーで#15 永原選手、#88 八巻選手、#6 吉田選手の先行をも許す。6番手スタートながら一気に順位を上げてきた#88 八巻選手は、コカコーラコーナーまでに#15 永原選手も抜いて2番手に立つ。

早々と逃げの構えに入った#14 松原選手に対し、2番手争いが熾烈。ダンロップコーナーでは3台が並んで飛び込み、ここで#6 吉田選手が前に出て、#88 八巻選手が3番手に。イン側から飛び込んだ#15 永原選手は縁石に乗って失速。その脇をすり抜けていったのは、なんと#52 津田選手！ 15番手からもう、この位置まで順位を上げてきたのだ。2周目のダンロップコーナーでは3番手に躍り出る。そして最終コーナーでは#15 永原選手が4番手に。

ひとりトップで#14 松原選手が逃げる一方で、2番手争いはなおも激しく、5周目の1コーナーでは#52 津田選手が前に出るも、コカコーラコーナーでは#6 吉田選手が抜き返す。しかし、#52 津田選手は諦めない。ダンロップコーナーで切れ味鋭く、再び#6 吉田選手をパス。その#6 吉田選手には、最終ラップの1コーナーで#15 永原選手が迫り、一度は前に出ますが、コカコーラコーナーで抜き返す。

最終ラップに突入した時点で1秒4もあったリードを、最後は#52 津田選手にコンマ3秒まで詰められた#14 松原選手ではあったが、これは勝ちを確信して手堅く走ったのだろう。#6 吉田選手と#15 永原選手が連なる格好でチェックを受け、3位、4位に。5位が#88 八巻選手で、6位が#10 杉田選手だった。

セミファイナル B 組トップ:#14 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)  
「スタートを自分がうまく決められたというのもありますし、後ろの選手がちょっとミスしてくれたおかげでマージンできたので、ちょっと楽な展開ではありましたね。でも、まだこれからなんで。後ろがやり合ってくれたからかもしれないですね」



セミファイナル B 組 2 位:#52 津田充輝選手(ファーストガレージ KK-SII)

「予選はちょっとエンジンのトラブルが起きてしまって、煙が上がっちゃうという。昨日、2 周しか走っていないので、なんとなく思ったことしか反映できなかったんですけど、セッティングをちょっと変えてみて、それがいい感じです。練習の時とか、まあまあ調子いい時もあったんですけど、富士ではいざ本番になるとマシントラブルではしれないとかあったので、そう考えると、かなりレベルアップしている中で、今順位だったと思います」

セミファイナル B 組 3 位:#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KK-SII)

「ペースは全然なかつたので、それを微調整しつつ……という感じですね。まあ、さっき(セミファイナル)より1ポジション上がったんですけど、総合では6番手なので、ちょっと厳しい位置ではあるんですけど、一步一步上がっていこうと思っています」

## ファイナル



ファイナルは12周での争い。セミファイナルのアベレージタイムで A 組の#53 石井選手が、B 組の#14 松原選手を上回ったことから、ポールポジションに就くことになり、A 組がアウト側のグリッドに、B 組がイン側のグリッドに並ぶことに。雨は弱いながらも、まだ降り続いている。その結果、このレースウィークは練習走行以外、すべてウェットタイヤを全車が装着しての戦いとなった。

セミファイナルに続いて、再び好スタートを切ったのは#14 松原選手。1 コーナーへのホールショットを

決め、これにファーストガレージの#53 石井選手、#22 酒井選手、#52 津田選手が続いていく。ところが、#14 松原選手は 100R で失速し、順位を落としてしまう。これでトップに#53 石井選手が立つ。1 周目を終えた時点での順位は、#53 石井選手、#22 酒井選手、#52 津田選手、#38 伊藤選手、#56 箕浦選手、#14 松原選手、#6 吉田選手という順。この内で 2 周目の 1 コーナーで順位を上げたのが#38 伊藤選手で、#52 津田選手を抜いて 3 番手に立つ。

そして早くも#22 酒井選手が勝負に討って出た。300R で#53 石井選手に並んでダンロップコーナーで待望のトップに！ それでも離れず続いているはずの#53 石井選手は、GR GT コーナーで痛恨のスピン。大きく順位を落としてしまう……。これにより単独走行となった#22 酒井選手はほぼ2秒の差をつけ、3 周目終了時点では2秒3にまで広げていた。

ところが直後に、あろうことかセーフティカー(SC)が導入されてしまう。1 コーナーでコースアウトした車両を回収するためだ。それが意味するのは、#22 酒井選手が築いたリードが水の泡と化すこと。同時に引き離されていたライバルにとっては、チャンス再来ということにもなる。

SC と#22 酒井選手の背後につける形となったのは、#38 伊藤選手、#56 箕浦選手、#6 吉田選手、



#52 津田選手、#15 永原選手、そして#14 松原選手といった、いずれも勝利の美酒の味を知るドライバー。リスタート後に出し抜いてやろうと考えているのは想像に難くない。SC の先導は 3 周に及び、#22 酒井選手の加速は GR GT コーナーから。上位陣は誰も遅れることなく続いている。

リスタート直後の順位変動はなかったものの、続く 9 周目の 1 コーナーで#38 伊藤選手をかわして 2 番手に躍り出たのが#56 箕浦選手。その時点でトップ#22 酒井選手との差は1秒 1 だったが、これをじわりじわりと詰めていく。その後ろでは#38 伊藤選手と#6 吉田選手がやり合っており、差も開き始めていたから、#56 箕浦選手は#22 酒井選手の追撃に専念できていた。

そしてぴたりと背後に着いて突入した最終ラップ。スリップストリームに入っているものの、#56 箕浦選手は#22 酒井選手を抜くまでには至らず。しかし、1 コーナーまでにより差を詰め、コーナーをひとつひとつクリアしていく。おそらく勝負をかけるところは、ここだと決めていたのだろう。そう、ダンロップコーナーで。進入でインを刺して並び、立ち上がりでスッと前に出た#56 箕浦選手！ これで勝負に決着が……。



最後はコンマ5秒差ながら、逃げ切って#56 箕浦選手は 2025 年の日本一決定戦に勝利。スーパーFJ 三冠王の#22 酒井選手ながら、またしても富士では勝てず。3位は#38 伊藤選手が、4位は#6 吉田選手が、5位は#52 津田選手が、そして6位は#15 永原選手が獲得した。

また、ジェントルマンクラスでは#4 古里拓選

手(FLEET レブレーシングガレージ)が 1 位を獲得した。

レース後には、各シリーズのチャンピオン表彰式と日本一決定戦の表彰式が行われ、#56 箕浦選手には JSS 賞の 50 万円、ダンロップ賞の 50 万円、合わせて 100 万円が渡された。さらに#56 箕浦選手には「ルーニースカラシップ」も授与され、2026 年の「F110 カップ」参戦も決定した。

また、ファイナルレースで最も光る走りを見せて活躍したドライバーに対する、「KED スター・オブ・トウモローオー賞」は#14 松原選手が獲得。ファイナルは8位に終わったものの、高評価と賞金 20 万円の獲得で、少しあは溜飲を下げたことだろう。なお、ジャンプアップ賞は最後尾から 19 位まで上がって、18 台抜きを果たした#33 磐上隼斗選手(富士吟景 GIA アルビレックス KKS2)が獲得している。

2026 年の日本一決定戦は、モビリティリゾートもてぎで開催される予定。

そして、新たな FJ レースシーズンは FJ1500 を戦列に加えスーパーFJ との混走でのレース開催となる。FJ1500 は、すでにテストでスーパーFJ を超えるパフォーマンスを示している、引き続き見どころ豊富なシーズンとなりそうだ。



ファイナル優勝:#56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)

「雨にも救われましたし、SC にも救われました。序盤はちょっと離されていましたから。終盤には僕にもペースがあって、完璧なレースができたので、けっこう満足しています。今後はどうなるかわからないですが、また頑張ります。応援してくれた皆さんへの支えがあったので、勝てました。ありがとうございます！」

ファイナル 2 位:#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KKS2)

「最終ラップの箕浦選手は速かったので、やっぱりブレーキで僕が粘れなかつたことに悔しく思っています。SC が入ったことで大きく展開が変わってしまったので、入らなければ序盤でけっこう離せていたので、このまま行ければ……と思っていましたが、そうはうまくいかなかったです。スタートが『やっと』というか、だいぶ良くなっていたので、必ず序盤で逃げられるという自信もありましたが、そこは、そうですね……」

ファイナル 3 位:#38 伊藤駿選手(Hoby Base & ZAP)

「順位が上がったのはいいんですけど、もしセミファイナルでミスっていなくても、けっこうきつかったかなという感じはありましたね。今年はここまで2戦しか出でていなかったし……。オーナーさん(畠中退三選手)が、これ借り物なんですけど、色々やってくれているので、戦闘力ありましたよね。来年はどんな形であれ、フル参戦できるよう頑張ります」

#### ファイナル 4 位:#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「やれるだけのことはやったという自負はあります。事前の練習ではすごく調子良かったのに、レースウィークの練習であんなことがあって、ここまで持ち直してこられたのは満足ですが……。でも、やっぱり。車も実はちょっと。いろいろやってもらったんですが、ファイナルになって右と左のコーナーでフィーリングが違ってしまって、前に着いていくのがやっとでした。今年 1 年間、頑張ってきたことを、なんとしても今後に活かしたいと思っています」

#### ファイナル 5 位:#52 津田充輝選手(ファーストガレージ KK-SII)

「自分のベストは尽くしました、それに尽きます。悔しくはありますが、だからといって抜かせるかというと、正直ペースが足りないと感じていたので、落ち着いて普通に、そのままレースしようと思っていました。先のことは何も考えていません。普通に多分、今日でおしまいかと考えていたので、特に。レースはもうしないかもしれません」

#### ファイナル 6 位:#15 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「ファイナルはペースが厳しく、防戦という形になってしまいました。セミファイナルではファステストラップを記録することができましたが、決勝で活かすことができず、悔しい思いです。この悔しさを糧に、来年の課題も見つかりましたので、ひとつひとつ課題をクリアして、勝負強さを身につけていきます！」



#### ジェントルマンクラス 1 位:#4 古里拓選手(FLEET レヴレーシングガレージ)

「なんとか走り切ることに集中して、頑張りました。去年も日本一出たんですけど、表彰台にも上がれなくて、1 年後のこの表彰台目指してやってきたので、やっと立てて、しかも中央で一安心しています。鈴鹿では山根(一人)さんが速くて、今回出ていなかつたのが残念ですが、また勝負して勝ちたいです。今、41 歳です。去年、条件満たしたばかりなんです」





# **Fuji Champion Race Series Rd.7**

12/20-21



No 5

## 2025 Super FJ 日本一決定戦

S-FJ 日本一決定戦 公式予選 A組

2025 / 12 / 20 / 0:00



## 正式結果表

Weather : Rain

Track :Wet

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	38			伊藤 駿	Hobbybase&ZAP	KK-S II	2'01.717	10		134.959
2	56			箕浦 梨己	MYST SEIDOYA KK-S II	KK-S II	2'01.954	10	0.237	0.237
3	53			石井 大雅	ファーストガレージ 制動屋S II	KK-S II	2'02.329	10	0.612	0.375
4	78			小田部 嘉幸	(株)ワースリング ZAP ED	KK-S II	2'02.690	10	0.973	0.361
5	79			三瓶 旭	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	2'03.035	10	1.318	0.345
6	2			YOSHIDA KODAI	T's TECHNO RF	KK-S II	2'03.054	10	1.337	0.019
7	22			酒井 翔太	ファーストガレージkks2	KK-S II	2'03.084	9	1.367	0.030
8	12			宮本 風斗	MYST KKS2	KK-S II	2'03.345	10	1.628	0.261
9	34			藤井 翔大	Drago CORSE	KKS-II	2'03.380	10	1.663	0.035
10	5			板倉 倖哉	AMORE with Racing F	KK-S II	2'03.392	10	1.675	0.012
11	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KK-S II	2'03.532	8	1.815	0.140
12	51			切替 悠喜	ファーストガレージRSD制動屋	KK-S II	2'03.554	10	1.837	0.022
13	57			東 慎之介	サンセルモMYST/ORM	KK-S II	2'04.749	10	3.032	1.195
14	24			内藤 大輝	RCIT RaiseUP ED	KK-S II	2'06.399	8	4.682	1.650
15	54			向畠 疾走	ファーストガレージKKS-2	KK-S II	2'06.582	8	4.865	0.183
16	87	ジエントルマン	1	山本 龍	おさきにどうぞ☆KKS-II	KK-S II	2'08.540	9	6.823	1.958
17	46	ジエントルマン	2	本間 隆史	MATRacingPJ10V	RD10V	2'10.984	5	9.267	2.444
18	25	ジエントルマン	3	フェリペ 昌	WRS MASA KKS-II	KK-S II	2'16.826	9	15.109	5.842
***** 以上予選通過 (2'38.600 - 130%) *****										
58				光山 勇正	ファーストガレージ KR KK-S II	KK-S II			DNS	
72				瀧邊 誠己	ELEVレーシングKKS2制動屋	KK-S II			DNS	

## 2025 Super FJ 日本一決定戦

No 7

S-FJ 日本一決定戦 公式予選 B組

2025 / 12 / 20 10:35



### 正式結果表

## Weather · Rain

### Track-Wet

### Fuji Speedway(4.563m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10VED	RD10V	2'02.407	10		134.198
2	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE		2'02.508	10	0.101	0.101
3	15			永原 蒼翔	ピットワークながはら/MYST		2'02.681	10	0.274	0.173
4	6			吉田 肇	TAKE FIRST KKS-2	KK-S II	2'02.771	10	0.364	0.090
5	88			八巻 渉	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	2'03.093	10	0.686	0.322
6	84			林 零仁	KSJC KK-SII	KK-S II	2'03.270	10	0.863	0.177
7	33			磐上 隼斗	富士吟景GIAアルビレックスKKS2		2'03.575	10	1.168	0.305
8	21			田崎 嶋馬	制動屋 MYST	KK-S II	2'03.626	10	1.219	0.051
9	61			一宮 緑太朗	MYST KK-S II	KK-S II	2'03.848	10	1.441	0.222
10	23			宇高 希	テイク エヌエーティー	RD10V	2'03.946	10	1.539	0.098
11	19			太田 援増	MYST 制動屋 KK-S II		2'04.139	9	1.732	0.193
12	39			Han Jaehee	Eagle Sports MYST KKS-2	KK-S II	2'04.687	10	2.280	0.548
13	36			小林 留魅	アルビ 新潟第一ホテルGIAED	RD10V	2'04.717	10	2.310	0.030
14	81			小野 大地	群馬トヨペットTeam RiNoA ed	KK-S II	2'04.899	10	2.492	0.182
15	52			津田 充輝	ファーストガレージKK-S II	KK-S II	2'06.181	3	3.774	1.282
16	4	ジエントルマン	1	古里 拓	FLEETUワレーシングガレージ	KK-S II	2'06.907	10	4.500	0.726
17	37			中嶋 哲也	アルビ HORIZONTAL·ED10V	RD10V	2'06.914	9	4.507	0.007
18	59			村上 太晟	ファーストガレージKK-S2	KK-S II	2'07.953	9	5.546	1.039
19	16	ジエントルマン	2	大貫 直実	Grade1·AutoLet·KKS	KK-S II	2'11.227	9	8.820	3.274



# Fuji Champion Race Series Rd.7

12/20-21



№ 26

2025 Super FJ 日本一決定戦

## S-FJ 日本一決定戦 セミファイナルA

2025/12/21/0:00



### 正式結果表

Weather:Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track:Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap	
1	53			石井 大雅	ファーストカレージ 制動屋S-II	KK-S II	6	12'20.538	131.616		2'02.766	5	
2	22			酒井 翔太	ファーストカレージ kks2	KK-S II	6	12'21.068	131.522	0.530	2'02.346	4	
3	38			伊藤 駿	Hobbybase&ZAP	KK-S II	6	12'21.804	131.391	1.266	2'02.264	2	
4	56			箕浦 稔己	MYST SEIDOYA KK-S II	KK-S II	6	12'22.478	131.272	1.940	2'03.081	5	
5	78			小田部 恵幸	(株)フォースリンク ZAP ED	KK-S II	6	12'27.960	130.310	7.422	2'03.716	3	
6	2			YOSHIDA KODAI	T's TECHNO RF		6	12'28.627	130.194	8.089	2'03.499	5	
7	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KK-S II	6	12'30.804	129.816	10.266	2.177	2'03.703	5
8	12			宮本 雄斗	MYST KKS2	KK-S II	6	12'31.220	129.744	10.682	0.416	2'03.973	5
9	34			藤井 翔大	Drago CORSE	KKS-II	6	12'32.684	129.492	12.146	2'04.085	2	
10	79			三瓶 旭	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	6	12'33.025	129.433	12.487	0.341	2'03.834	5
11	51			切替 悠喜	ファーストカレージ RSD 制動屋		6	12'37.907	128.599	17.369	4.882	2'03.500	4
12	57			東 慎之介	サンセルモ MYST/ORM		6	12'38.592	128.483	18.054	0.685	2'04.574	6
13	54			向畑 疾走	ファーストカレージ KKS-2	KK-S II	6	12'40.508	128.160	19.970	1.916	2'05.281	4
14	24			内藤 大輝	RCIT RaiseUP ED		6	12'48.382	126.846	27.844	7.874	2'06.034	5
15	5			板倉 慎哉	AMORE with Racing F	KK-S II	6	12'49.987	126.582	29.449	1.605	2'05.110	3
16	87 ジェントルマン	1		山本 龍	おさきにどうぞ☆KKS-II	KK-S II	6	13'14.808	122.629	54.270	24.821	2'09.161	5
17	25 ジェントルマン	2		フリハ 昌	WRS MASA KKS-II	KK-S II	6	14'03.852	115.502	1'43.314	49.044	2'14.612	6
46	ジェントルマン			本間 隆史	MATRacing PJ10V	RD10V		DNS					

№ 28

2025 Super FJ 日本一決定戦

## S-FJ 日本一決定戦 セミファイナルB

2025/12/21/0:30



### 正式結果表

Weather:Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track:Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap	
1	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10VED	RD10V	6	12'31.044	129.775		2'04.590	4	
2	52			津田 充輝	ファーストカレージ KK-S II	KK-S II	6	12'31.350	129.722	0.306	0.306	2'04.158	6
3	6			吉田 馨	TAKE FIRST KKS-2	KK-S II	6	12'32.944	129.447	1.900	1.594	2'04.599	4
4	15			永原 蒼翔	ピットワークながはら/MYST		6	12'33.117	129.417	2.073	0.173	2'03.955	3
5	88			八巻 渉	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	6	12'34.280	129.218	3.236	1.163	2'04.600	6
6	10			杉田 慎真	LAPS with REV RACING GARAGE		6	12'34.587	129.165	3.543	0.307	2'04.225	6
7	39			Han Jaehee	Eagle Sports MYST KKS-2	KK-S II	6	12'37.612	128.649	6.568	3.025	2'04.994	4
8	19			太田 握増	MYST 制動屋 KK-S II		6	12'39.028	128.409	7.984	1.416	2'04.935	5
9	21			田崎 梅馬	制動屋 MYST	KK-S II	6	12'40.483	128.164	9.439	1.455	2'04.559	6
10	61			一宮 総太朗	MYST KK-S II	KK-S II	6	12'43.264	127.697	12.220	2.781	2'05.071	5
11	36			小林 留魅	アルビ 新潟第一ホテルGIAED	RD10V	6	12'44.958	127.414	13.914	1.694	2'05.678	6
12	84			林 零仁	KSJ KK-SII	KK-S II	6	12'54.394	125.862	23.350	9.436	2'04.496	5
13	4 ジェントルマン	1		古里 拓	FLEETレーサーリングカレージ	KK-S II	6	12'55.217	125.728	24.173	0.823	2'07.752	2
14	37			中嶋 哲也	アルビHORIZONTAL·ED10V	RD10V	6	13'01.469	124.722	30.425	6.252	2'07.839	4
15	59			村上 太風	ファーストカレージ KK-S2	KK-S II	6	13'03.402	124.414	32.358	1.933	2'07.692	5
16	81			小野 大地	群馬トヨペットTeam RiNoA ed	KK-S II	6	13'07.956	123.695	36.912	4.554	2'07.447	2
17	16 ジェントルマン	2		大貫 直実	Grade1·AutoLet·KKS	KK-S II	6	13'22.121	121.511	51.077	14.165	2'11.702	5
18	23			宇高 希	テイクエスエーティー	RD10V	6	14'11.254	114.497	1'40.210	49.133	2'05.976	4
19	33			塙上 隼斗	富士吟景GIAアルビレックスKKS2		1	2'31.456	101.233	5Laps	5Laps	-	-

**Fuji Champion Race Series Rd.7**  
12/20-21

SuperFJ

Formula Beat

GR Yaris Cup

Super MEC 120  
Minutes Endurance Challenge

2025 Super FJ 日本一決定戦

No.41

S-FJ 日本一決定戦 ファイナル

2025/12/21/4:55

FUJI SPEEDWAY

Fuji Speedway(4,583m)

正式結果表

Weather: Rain

Track: Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap	
1	56			高橋 横己	MYST SEIDOYA KK-S II	KK-S II	12	27'40.489	118.055		2'02.683	12	
2	22			酒井 駿太	ファーストグレードkks2	KK-S II	12	27'40.991	118.018	0.522	2'02.374	2	
3	38			伊藤 駿	Hobbybase8ZAP	KK-S II	12	27'42.847	117.898	2.378	2'02.956	3	
4	6			吉田 駿	TAKE FIRST KKS-2	KK-S II	12	27'43.906	117.811	3.437	2'03.239	2	
5	52			津田 光輝	ファーストグレードKK-S II	KK-S II	12	27'46.724	117.612	6.256	2'03.611	3	
6	15			永原 貴裕	ビヨウタグレードMYST	KK-S II	12	27'48.822	117.464	8.353	2'03.720	2	
7	88			八幡 淳	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	12	27'52.146	117.231	11.677	3'324	3'03.924	3
8	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10VED	RD10V	12	27'54.888	117.040	14.339	2.722	2'04.211	2
9	2			YOSHIDA KODAI	T's TECHNO RF	KK-S II	12	27'55.571	116.961	15.102	0.703	2'04.639	9
10	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KK-S II	12	27'56.256	116.843	15.787	0.685	2'03.716	8
11	61			切替 悠貴	ファーストグレード制動屋	KK-S II	12	27'57.244	116.875	16.775	0.988	2'04.871	10
12	53			石井 大輔	ファーストグレード制動屋	KK-S II	12	27'57.345	116.860	16.876	0.101	2'03.832	10
*1	13	21		田崎 駿馬	制動屋 MYST	KK-S II	12	27'58.467	116.789	17.998	1.122	2'04.231	12
14	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KK-S II	12	28'01.032	116.611	20.563	2.565	2'05.218	12
15	54			阿須 桂志	ファーストグレードKKS-2	KK-S II	12	28'01.920	116.550	21.451	0.888	2'05.177	12
16	5			板倉 優哉	AMORE with Racing F	KK-S II	12	28'02.522	116.508	22.063	0.602	2'05.151	12
17	81			一宮 駿太朗	MYST KKS-2	KK-S II	12	28'05.795	116.282	25.326	3.273	2'05.332	3
18	23			宇高 勇	RD10V	RD10V	12	28'07.893	116.137	27.424	2.098	2'08.206	9
19	33			豊上 車斗	富士町GIAF&ビレックスKKS2	KK-S II	12	28'08.984	116.062	28.515	1.091	2'05.743	9
20	81			小野 大地	舞馬H3+Team RINoA ed	KK-S II	12	28'10.578	115.993	30.109	1.594	2'08.204	11
21	78			小畠 駿幸	(株)D+STARS ZAP ED	KK-S II	12	28'12.557	115.817	32.088	1.579	2'04.397	3
22	38			小林 駿魁	7&ビースト第一ホーリー	RD10V	12	28'14.808	115.677	34.139	2.051	2'06.640	11
23	39			Han Jaehee	Eagle Sports MYST KKS-2	KK-S II	12	28'14.863	115.680	34.394	0.255	2'05.627	2
24	4 ジェントルマン 1			吉里 拓	FLEETレーシングカーレース	KK-S II	12	28'17.316	115.482	36.847	2.453	2'07.095	11
25	59			利上 文慶	ファーストグレードKK-S2	KK-S II	12	28'29.027	114.701	45.553	11.711	2'08.727	9
*2	26	34		藤井 駿大	Drago CORSE	KKS-II	12	28'32.937	(27'82.937+40秒)	3.810	2'04.195	11	
27	37			中島 哲也	7&E HORIZONTAL-ED10V	RD10V	12	28'34.113	114.381	53.644	1.176	2'10.017	10
*3	29	24		山本 駿	おさきにどうぞKKS-II	KK-S II	12	28'34.382	114.343	53.813	0.269	2'10.286	10
30	25 ジェントルマン 3			内藤 大輝	RCIT RaiseUP ED	KK-S II	12	28'35.895	(28'90.895+5秒)	1.513	2'07.247	3	
*4	31	16 ジェントルマン 4		大貫 直実	WRS MASA KKS-II	KK-S II	12	29'03.782	112.414	1'23.323	27.897	2'14.517	9
32	79			三瓶 勉	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	10	23'59.716	113.337	2Laps	2Laps	2'06.425	9
***** 以上完走 (規定周回数 10Laps) *****													
*2	19			太田 拓唯	MYST 制動屋 KK-S II		4	10'00.694	(9'20.694+40秒)	6Laps	2'06.406	3	
57				高橋 之介	TSUBASA MYSTORM		3	6'35.887	124.887	9Laps	1Lap	2'05.329	3
*5	84			林 審仁	KSJC KK-SII	KK-S II	2	4'36.840	115.136	10Laps	1Lap	2'21.510	2
12				宮本 駿斗	MYST KKS2	KK-S II	2	4'50.193	109.442	10Laps	14.353	2'38.286	2
46 ジェントルマン				本間 雄空	MATRacingPJ10V	RD10V		DNS					

Fastest Lap

2'02.374 (2 / 12) 134.234 km/h 22 酒井 駿太 / ファーストグレードkks2  
ジェントルマン 2'07.098 (11 / 12) 129.245 km/h 4 吉里 拓 / FLEETレーシングカーレース

Start Time :13:17:35 Finish Time :13:45:15.469

Entry :39 Start :36 Finish :32

黒白復提示(13:22 CarNo.36 復帰の仕方)

SC導入時刻 13:25(3Lap)~13:34(7Lap)

\*1 CarNo.21は、L項第4章第4条(c,d) (ピット入口ホワイトラインカット)違反により、罰減とする。

\*2 CarNo.34, 19は、富士スピードウェイ競争規則第5章第16条(1)項(1) (直線への横滑り行為+コースアウト)違反により、競技結果に対して40秒加算のペナルティを課す。

\*3 CarNo.24は、富士スピードウェイ競争規則第8章第33条2,3(B)SC過去後のスタート(手順)違反により、競技結果に対して5秒加算のペナルティを課す。

\*4 CarNo.16は、H項(SC中のスピinn)違反により、競技結果に対して30秒加算のペナルティを課す。

\*5 CarNo.84は、富士スピードウェイ競争規則第9章第40条2,3(ピットレーンの速度規制)違反により、ペナルティストップ5秒を課したが、リタイアにより未課化。



SuperFJ

Japan Scholarship System